

# Study Abroad

2024



GUIDE TO STUDY ABROAD PROGRAM  
FACULTY OF ECONOMICS, HOSEI UNIVERSITY



CANADA BROCK UNIVERSITY



UNITED KINGDOM THE UNIVERSITY OF SHEFFIELD



THE UNITED STATES OF AMERICA UNIVERSITY OF CALIFORNIA DAVIS

法政大学  
経済学部

学部独自の留学制度スタディ・アブロード(SA)ガイドブック

## 学部長から皆さんへ

FROM THE DEAN



### 世界に触れて、 自分の成長を加速させよう

皆さんの多くは、コロナ禍での高校生活を過ごしてきたものと思います。部活動すら十分に実施できず、体育祭や文化祭などのイベントも中止になったという経験を持つ人も多いのではないのでしょうか。ステイホームが推奨され、各国の入国制限が長く続いたこともあって、世界はすっかり遠いものになってしまいました。そのため、海外留学といってもなかなかイメージを持ちにくいかもしれません。

経済学部ではこれまで20年以上に渡ってSAプログラムを実施してきました。途中、コロナの影響で中止した時期もありましたが、今ではほぼ元のプログラムに戻っています。留学先となるアメリカ、カナダ、イギリスの3カ国はいずれも日本から渡航でき、入国後の行動制限も解除されています。そのため、日常生活ではコロナを感じないレベルまで正常化が進んでいます。

プログラムの詳細はこのあとのページを見てもらうとして、SAプログラムに応募し合格すると、1年次の秋学期に留学準備講座を受講し、2年次の春学期には実際に4ヶ月間の海外留学にでかけます。そして、帰国後にレポートを提出し、2年次の秋学期にはフォローアップ講座や報告会等も開催されるなど、およそ1年間に渡るプログラムに取り組むことになります。所定の費用はかかりますが、単位認定を得られるため、卒業のタイミングをずらすことなく留学を体験できるなど、充実した内容のプログラムになっています。

留学の醍醐味はなんと言っても異なる国で生活し、これまでにない人間関係を築ける点にあるといっても過言ではありません。旅行とは異なり、生活することで初めて気づくことはたくさんあります。また、現地の大学に通い、ホストファミリーと生活を共にし、留学先でのコミュニティに参加することで、今までとはまったく違った人間関係も構築できます。わずか4ヶ月の滞在かもしれませんが、異文化体験は「する」か「しない」かが大きく関係してきます。英語力の向上はもちろんのこと、SAに参加することでしか得られない体験は、なにもにも代え難い貴重な財産をもたらしてくれることでしょう。

SNS やソーシャルメディアを通じて世界の情報が簡単に手に入る時代だからこそ、実際に自分の目で見て、空気を感じ、手で触れることが重要です。特に、コロナですっかり非日常になってしまった「世界」とリアルに接することは、間違いなく大きな刺激になるでしょう。帰国後には自分の視野が広がったことを実感するだけでなく、何かにつけて現地での体験と比べてしまう自分がいることに気づくかもしれません。さらには、「もっと英語をしゃべれるようになりたい」、「もっと勉強したい」、「海外で働きたい」といったモチベーションに溢れているかもしれません。この先の自分を成長させるきっかけとして、ぜひSAプログラムへの参加を検討してみてください。

2024年4月 法政大学経済学部長 竹口 圭輔



# 【1】スタディ・アブロード (SA) プログラム

## OVERVIEW OF THE STUDY ABROAD PROGRAM

経済学部スタディ・アブロード (SA) プログラムとは、学生が2年次の春学期に、アメリカのカリフォルニア大学デイビス校国際トレーニング & 教育センター、カナダのブロック大学英語教育センター、イギリスのシェフィールド大学英語教育センターで開講される英語の授業を履修する選択制のプログラムです。

### 1. スタディ・アブロード (SA) の目的

経済学部 SA プログラムは、英語の集中的な学習によって実用能力に磨きをかけ、英語を通して留学先の文化、社会、経済、ビジネス等の講義科目を学び、さらにホームステイ (※) やキャンパスライフなどの日常生活経験によって、異文化理解を深めることを目指すプログラムです。留学先で出会う外国人の教員や友人たちとの交流で、国際経済人としてのマナーとルールを身につけ、自立の精神を養い、グローバル化の著しい世界に向かって、日本の立場から説得力のあるメッセージを発信する能力を養うことが期待されます。そこで学んだことが就職や進学に結びつき、将来の可能性を大きく広げるものであることを願ってやみません。若い時代の留学で得られるみずみずしい生活体験、学習体験は、生涯にわたって大きな影響を持つものです。直接的な異文化体験、カルチャーショックなども、それらを積極的に捉え大切に反芻することによって精神の財産となり、物事を真に批判的に見る目が養われ、日本の文化や社会、経済あるいは人間のあり方をより客観的に見られるように、また評価し直す契機ともなるでしょう。SA が参加学生の人間の成長を促す貴重な心の糧となることも、もう一つの目的なのです。

(※) SA プログラムは、原則ホームステイでの滞在です。

### 2. プログラム概要

SA の授業はいずれも留学先大学の外国人講師により英語で行われます。授業は集中的な英語の学習プログラムに、その国の経済・ビジネス・文化・社会等の講義を折りまぜて構成されます。

- 留学時期：2年次春学期の約4ヶ月間
- 留学資格：
  - (a) 2年次に進級する見込みであること
  - (b) 健康であること
  - (c) 1年次終了までに1年次配当必修科目（外国語・入門ゼミ・スポーツ総合・専門必修）の単位を修得していること（未修得の場合は原則留学できません）
- 募集人数：60～100名程度  
（国際経済学科40～60名、経済学科・現代ビジネス学科20～40名）
- 希望者が派遣を予定している人数を超える場合は、留学先大学との交渉により、留学者数を増やすこともあります。  
（選抜方法に関しては、【4】応募時期・選抜方法、【5】SA 留学先大学の決定についてを参照）
- その他注意事項：
  - ① 希望者が派遣を予定している人数より極端に少ない場合（目安として、1大学の留学者数が15人未満の場合）は、留学先大学を減らす可能性があります。
  - ② ガイダンス、留学準備講座の出席率が著しく低く、且つ留学意欲の低い学生については留学を取り消す場合があります。その際、その時点までにすでに発生している費用についてはお支払いいただくこととなります。また、SA 留学中に生活面・留学態度において、学生の本分を逸脱する行為があった時は本人より状況を確認したうえで、SA 留学を中止し、強制帰国となる可能性があります。その場合の帰国にかかる費用は自己負担となり、留学費用の返還は一切行いません。

### 3. 単位認定

留学先で修得した単位は、本学の単位に換算して16単位を上限に認定します。留学準備講座・ガイダンス等は、1年次のSA事前指導として1単位（専門・選択）の履修登録となります。また、SA研究レポート・フォローアップ講座等は、2年次のSA事後指導として1単位（専門・選択）の成績評価の対象となります。

※ 成績不良、出席率の悪い学生には単位認定は出来ません。

#### 帰国後の単位認定について

次の科目は帰国後、認定可能な経済学部の科目です。科目は自由に組み合わせて申請できます。

##### 外国語科目

##### 〈国際経済学科〉

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ・英語必修科目（各1単位）                   | ・英語選択必修科目（各1単位、上限2単位）                     |
| Reading and Interaction 1A・B    | Academic Presentation and Interaction A・B |
| Writing and Interaction 1A・B    | Academic Reading and Interaction A・B      |
| Listening and Presentation 1A・B | Academic Writing and Interaction A・B      |
| Reading and Interaction 2A・B    | Academic Listening and Interaction A・B    |
| Writing and Interaction 2A・B    | Modern Novel A・B                          |
| Listening and Presentation 2A・B | TOEFL and IELTS Preparation A・B           |
|                                 | TOEIC Preparation A・B                     |
|                                 | Media English A・B                         |

##### 〈経済学科〉〈現代ビジネス学科〉

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| ・英語必修科目（各1単位）                  | ・英語選択科目（各1単位、上限2単位）                       |
| Reading and Interaction A・B    | Academic Presentation and Interaction A・B |
| Listening and Presentation A・B | Academic Reading and Interaction A・B      |
| Writing and Interaction A・B    | Academic Writing and Interaction A・B      |
|                                | Academic Listening and Interaction A・B    |
|                                | Modern Novel A・B                          |
|                                | TOEFL and IELTS Preparation A・B           |
|                                | TOEIC Preparation A・B                     |
|                                | Media English A・B                         |

##### 総合教育科目

スタディ・アブロード（総合）Ⅰ～Ⅲ（各2単位）

##### 専門教育科目

スタディ・アブロード（専門）Ⅰ～Ⅲ（各2単位）（選択科目）

### 4. プログラムの運営について

経済学部SAプログラムは、法政大学と留学先大学との間で締結されている協定に基づき、経済学部が留学先大学（附属機関）と直接やり取りの上、入学手続きのサポートを行っています。一方、ビザ取得や航空券手配、海外旅行保険の申込等の各種渡航サポート及び出発前の現地危機管理情報の入手については、法政大学が国内旅行代理店に業務委託する形で運営されます。

そのため、SAプログラムの留学先大学（附属機関）における授業料やホームステイ費等の現地費用については、すべて留学先大学からの請求に基づき参加学生に請求され、本学における手数料は一切かかりません。また、旅行代理店へのサポート費用（業務委託料）は、参加者が負担する航空券等旅行代金の中に一部含まれます。

従いまして、SAプログラムに申込み後、参加辞退が発生する場合は、留学先大学ならびに旅行代理店の規程にもとづき、キャンセル料が申込者本人に対して請求されることとなります。



## [2] SA スケジュール

SCHEDULE

### ■ 1 年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	① SA 説明会				③ 合否発表・留学先の決定						
	② SA 応募申請				④ パスポート 取得・更新						
						⑪ SA費用 振込				⑪ SA 費用振込	
					⑤ 留学準備講座及びガイダンス					⑫ 出国	
					⑥ 渡航・旅券に関する諸説明					←	
					⑦ 帰国報告会・英語プレゼン						
					⑧ TOEIC®-IP 試験						
					⑨ ビザ取得方法説明会 ⇒ ⑩ ビザ取得						

### ■ 2 年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑫ 出国											
←											
⑬ 中間報告書（月次）の提出					⑧ TOEIC®-IP 試験						
				⑭ 帰国							
					⑮ SA研究レポート・フォローアップ講座・ 帰国報告会・英語プレゼン						

※上記の日程はすべて予定であり、変更となる可能性があります。

#### ① SA 説明会（1 年次春学期）

SA についての全体的な説明会です。参加希望者は必ず参加してください。

#### ② SA 応募申請（1 年次 5 月頃（予定））

最終希望登録であり、これ以後の募集は原則的にありません。

#### ③ 合否発表・留学先の決定（1 年次 9 月下旬）

希望登録を受け、経済学部が最終的に合格者と留学先を決定します。

#### ④ パスポート取得・更新（1 年次 9・10 月）

渡航に有効なパスポートを各自で取得・更新します。パスポートにかかる費用は各自の負担になります。

#### ⑤ 留学準備講座及び SA ガイダンス（1 年次秋学期）

SA 出発前の 1 年次に留学準備講座及びガイダンスを実施します。留学準備講座では、各留学先に分かれて、各国出身のネイティブ講師による英語の授業を受講します。ガイダンスでは、渡航手続き説明など留学までのステップをサポートしていきます。どちらも出席は義務です。出席状況が思わしくない学生については、留学が取り消されることがあります。

## ⑥ 渡航・旅券に関する諸説明、留学先入学許可申請等の登録指導

留学先決定後、渡航・旅券について旅行代理店による説明や、各大学への入学申請とホームステイ申込みについての説明・指導を行います。

## ⑦ 帰国報告会・帰国生 SA 研究レポート優秀者による英語プレゼンテーション（1 年次 10 月頃）

SA 帰国生の帰国報告会と SA 研究レポート優秀者による英語プレゼンテーションに参加します。先輩の SA の成果に触れて、モチベーションを高めてください。

## ⑧ TOEIC®-IP 試験（1 年次・2 年次 10・11 月）

出発前と帰国後に TOEIC®-IP を受験し、プログラム参加によりどれだけ英語力が向上したかを測ります。

## ⑨ ビザ取得方法説明（1 年次 10・11 月）

ビザ取得のためには各種証明書（英文残高証明書など）を各自で用意することになります。国によって必要な書類は異なり、準備に時間がかかる場合がありますので各自注意が必要です。提出時期、提出方法等についてはガイダンスを通じて指示します。

## ⑩ ビザ取得（1 年次 11～2 月）

旅行代理店のサポートを受けながらビザを取得します（ガイダンスにて取得方法をご案内します）。

## ⑪ SA 費用振込（1 年次 10 月・2～3 月（予定））

1 年次 10 月に申込金、2～3 月頃にプログラム費用（渡航費、ビザ申請料、保険料、授業料、ホームステイ費用等）の通知・振込みを予定しています。

## ⑫ 出国＜SA 開始＞（1 年次 3 月～2 年次 4 月）

※出国日は留学先によって異なります。

現地学校のプログラムにあわせ、例年 1 年次の 3 月から、留学先大学ごとにまとまって出国します。なお、SA プログラムは法政大学の授業の一環であり、単独での出国は認められません。

## ⑬ 中間報告書（月次）の提出

毎月、現地での学習状況や SA 研究レポートの作成状況についての報告書をメールで提出します。

## ⑭ 帰国（2 年次 8～9 月）

※帰国日は留学先によって異なります。

現地学校のプログラムにあわせ、2 年次の 8 月から、留学先大学ごとにまとまって帰国します。

なお、SA プログラムは法政大学の授業の一環であり、単独での帰国は認められません。

## ⑮ SA 事後指導（2 年次 9～12 月）

- ・ SA 研究レポート：SA プログラムの集大成として、帰国後に SA 研究レポートを提出します。
- ・ フォローアップ講座：各留学先に分かれて、現地で身につけたスピーキング力やファシリテーション能力、プレゼンスキル等を活かし、様々なトピックを討議し、話し合い、理解を深めます。
- ・ 帰国報告会：SA プログラム参加者全員が英語でプレゼンテーションを行います。
- ・ 学生研究報告大会：SA 研究レポート優秀者が英語でプレゼンテーションを行い、現地で学んできた学習成果・生活等を発表します。



## [3] SA 費用について

EXPENSES

### (1) 費用内訳

次年度の費用は為替変動や留学先大学の授業料の変更等で増減する可能性があります。ご了承ください。

なお、留学期間中の法政大学への学費の減免はありません。

以下の費用は、経済学部 2023 年度留学生の SA 費用です。

留学先	授業料 宿泊代等	航空券 ビザ・保険等	留学準備講座
アメリカ	USD 11,767.00	¥464,660	¥10,000
カナダ	CAD 11,555.25	¥359,070	¥10,000
イギリス※	£ 7,748.384	¥224,000	¥10,000

※イギリスは 2019 年度の実績（参考）です。

### (2) スケジュール、支払方法

旅行代理店の渡航・ビザに関するサポート費用（業務委託料）は、SA 合格後の 10 月に申込金として請求されます。その後、現地授業料、宿泊費、留学準備講座費用、往復の渡航費、ビザ取得費用、海外旅行保険料等の費用は、1 年次の 2～3 月頃に保証人宛てに提示し、お支払いいただく予定です。なお、支払方法についての詳細は、別途お知らせします。

### (3) 「経済学部 SA 奨学金」について（給付型）

経済学部独自の奨学金制度です。

**金額：旅費総額（現地授業料、宿泊費含む）の 30%程度（最大）**

**人数：42 名程度（最大）**

なお、募集に関しては SA への参加決定者を対象に 1 年次の 10 月頃に応募受付を行います。

### (4) キャンセルについて

SA 費用のうち、参加申し込み後の 10 月以降は、留学前でも旅行代理店へのサポート費用（業務委託料）及びビザ取得費用が発生します。また、1 年次 1 月以降、万一個人のやむを得ない事情により SA 参加を辞退する場合、または教授会により SA プログラムの取り止めが決定した場合、旅行代理店及び現地機関の規程によるキャンセル料に加え、返金にかかる手数料、それに伴う為替差損などが発生することがあります。航空券についても早い段階からキャンセル料が発生するケースがあります。これらのキャンセルにかかる費用は、各自の負担となります。





## 【4】 応募時期・選抜方法

SELECTION

例年、1年次春学期に説明会を行い応募期間を設けます。原則として1年次春学期の成績（GPA・TOEIC®-IP試験の結果等）を中心に選抜を行います。



## 【5】 SA 留学先大学の決定について

ANNOUNCEMENT OF APPLICATION RESULTS

留学先大学の受け入れ人数に制限があるため、以下の方法により、留学先を決定します。

- (1) 留学先大学についての希望順位を登録します。そのうえで成績を参考にし、法政大学が留学先を調整します。
- (2) (1) の成績とは、1年次春学期の成績（GPA・単位修得状況等）及び入学前（3月）のオンラインTOEIC®-IP試験の結果とします。
- (3) 人数の調整が行われた結果、費用の高い大学に振り分けられる場合がありますが、ご了承願います。

なお、希望登録から決定までのスケジュールは、【2】SAスケジュールに記した通りです。また、一度決定した留学先の変更は理由の如何を問わず一切できません。



## 【6】 外国語能力検定について

TOEIC®-IP

SA参加者は、留学前と留学後にTOEIC®-IPの受験が義務付けられています。



## 【7】 渡航（出国・帰国）について

FLIGHT TICKETS

渡航のための航空券は、法政大学が旅行代理店を通じて用意します。







## 【8】各留学先の紹介

### INTRODUCTION OF EACH STUDY ABROAD



## 【アメリカ】 UNIVERSITY OF CALIFORNIA, DAVIS

フロンティア精神の地・西海岸でアメリカを体感

住 所：1333 Research Park Drive, Davis, CA 95618 U.S.A

W e b：http://www.ucdavis.edu/



### ① 受け入れ機関

カリフォルニア大学デイビス校  
(UC Davis Division of Continuing and  
Professional Education-International)

### ② 大学および周辺の紹介

カリフォルニア大学群のひとつとして 1905 年に開校されました。当初は農学部のみでしたが、年々拡大の一途を辿り、大規模大学へと変身を遂げました。今日でも農学の分野は全米でも高い評価を得ています。また、エスニック研究も盛んで、デイビス校の大きな魅力のひとつとなっています。キャンパスも非常に広大で教室間の移動には自転車を利用する学生が多く、スケールの大きいキャンパスライフを楽しめます。

デイビス市はサンフランシスコから約 100 キロ北東の位置にあり、人口は約 5 万人、フレンドリーで気さくな治安の良い大学の町です。町中には自転車専用道路が数多くあり、キャンパス以外でも自転車は最も便利な交通手段です。地中海性の温暖な気候のため、外国人留学生にも人気のある町です。

### ③ 特色

15 週間を通して Academic Engagement Track (AET) of Destination Davis Program (DD) を受講します。AET では語学授業とその他講義授業を並行して行います。語学授業については、渡米前にプレースメントテストを受け、語学レベル別に受講します。その他講義授業では、SDGs やアメリカ文化・社会などについて学びます。ゲストスピーカーを招いての講義やディスカッション授業、企業訪問などもプログラムの一環として設けられています。

### ④ 留学期間

3 月下旬～ 8 月上旬 (予定)

### ⑤ 宿泊施設

ホームステイ

### ⑥ 参加費用

P.6 参照



### 【時間割】 Academic Engagement Track (AET) Sample Schedule

	Section A	Section B	Section C	Section D
9:00-9:50	Academic Literacy	Academic Literacy	Academic Literacy	Academic Literacy
10:00-10:50	Content Course: Sustainable Development Goals	Content Course: Sustainable Development Goals	Content Course: Sustainable Development Goals	Content Course: Sustainable Development Goals
11:10-12:00	Academic Listening and Speaking	Academic Listening and Speaking	Academic Listening and Speaking	Academic Listening and Speaking
12:10-1:00	Understanding Society Through Social Media	Understanding Society Through Social Media	Understanding Society Through Social Media	Understanding Society Through Social Media

※上記はあくまで時間割の一例です。

### 後輩へのメッセージ▶▶ SA22 期生 眞弓 洋平

SA プログラムは大学生活の中で何かに挑戦をしたいと考えている方に、ぴったりのプログラムだと思います。私はこの留学を通して様々な面で成長できました。

現地での生活では、英語力の飛躍はもちろんのこと、アメリカの文化や独特なコミュニケーション、新しい考え方を学べます。何をすることも刺激的であり、このような経験は日本では絶対にできません。それだけではなく、ホストファミリーや現地の友達、一緒に留学に行った仲間たちと共に過ごした思い出は、かけがえのないものとなりました。

SA プログラムに参加したいと思い、一步を踏み出した時点で最初の挑戦は成功しています。そこからは、日々の中で小さな挑戦を積み重ねていけば、留学は大きな成功となると思います。最後に、楽しむことが一番大切です。心を開いて海外での生活を目一杯楽しんでください！





## 【カナダ】 BROCK UNIVERSITY

雄大な自然の中での先進的な学び

住 所：500 Glenridge Avenue, St. Catharines, Ontario, Canada L2S 3A1

W e b：http://www.brocku.ca/



### ① 受け入れ機関

ブロック大学 (Brock University ESL Services)

### ② 大学および周辺の紹介

ブロック大学の名称は、イギリス陸軍の将軍であり、イギリスの植民地であったアッパー・カナダの統治者「アイザック・ブロック」にちなんでつけられています。大学の創立は1964年と比較的新しいですが、州立大学として地域の高等教育において大きな役割を果たしています。

オンタリオ州トロントとニューヨーク州パッサイクの中間に位置するセントキャサリンズは、トロント市内へ車で約60分、世界的な観光名所として有名なナイアガラの滝まで車で30分ほどの距離にあります。ワインの里としても有名であり、カナダ随一の温室産業の基地ということで美しい公園や沢山の温室があるため、ガーデンシティとも呼ばれています。またスキー場も近く、ゴルフコースも多いのでスポーツも楽しめます。大学は総合大学で、アスレチックセンターや図書館は地域の住民にも開放されています。

### ③ 特色

カナダの大学進学希望者向けのプログラムを13週間に渡って学びます。語学学習（スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング、文法）を中心に構成されており、加えてビジネス英語も6週間かけて学習します。また、グループや個人でのプレゼンテーションなども行います。

International Centre 主催のイベント（自由参加）も開催され、他の留学生との交流の場も多く用意されています。

### ④ 留学期間

4月中旬～8月下旬（予定）

### ⑤ 宿泊施設

ホームステイ

### ⑥ 参加費用

P.6 参照



### 【講義の例】 Hosei University Business English Program

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
						Arrival at International Centre Meet homestay families
Free Time	First Day of Program 10am-2pm • Orientation • Campus Tour • Lunch • Getting to Know You Global Commons, GLB104	9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Tour of Walker Complex followed by Brock University Scavenger Hunt	9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Tour & presentation Brock LINC, intro to Makerspace Rankin Family Pavilion room 302	9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Workshop: CV/Resume advice from Career Services	9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Conversation Cafe Global Commons, GLB104	Free Time
Free Time	9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Guest Speaker, Global Commons, GLB104	9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Hike Glenridge Naturalization Site Meet in GLB104	9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Maker Space Workshop Rankin Family Pavilion	9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Guest Speaker, Global Commons, GLB104	Last Day 9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm Cake & Closing Ceremony Global Commons, GLB104	

※上記はあくまで時間割の一例です。

### 先輩へのメッセージ SA22期生 小川 紗奈

SAプログラムは私にとって非常に貴重な経験でした。初めての留学ということもあり、最初はホストファミリーの言葉が理解できず、英語での会話も緊張していました。しかし、約4か月間のカナダ滞在を通じて、文法が正確でなくても自分が知っている語彙で意思を伝えることの重要性を実感し、自分の意見をはっきりと伝える力が身につきました。

学校では、私たちと同じく英語を学びに来たさまざまな国籍の学生と交流する機会がありました。一緒に食事やゲームをすることで、お互いの国の文化やトレンドを知ることができ、とても楽しい経験をすることができました。学校だけでなく、ホームステイでは、ホストファミリーと買い物や夕食の時に色々な話をするので、英語力を伸ばすいい機会となりました。SAプログラムは英語力が向上するだけでなく、価値観が広がり個人としても成長できます。是非参加してみてください！





## 【イギリス】 THE UNIVERSITY OF SHEFFIELD

シェイクスピアの国で学ぶ正統英語

住 所 : 78 Hoyle Street, Sheffield S3 7LG, United Kingdom

W e b : <http://www.shef.ac.uk/>



### ① 受け入れ機関

シェフィールド大学  
(English Language Teaching Centre (ELTC))

### ② 大学および周辺の紹介

シェフィールド大学はその歴史的伝統においても、また現在の学生数や施設の点においても英国で十指に入る名門大学です。同大学は1905年に地域貢献を目指して医学、工学などの高等教育機関が前身となって設立されました。現在は文学・社会科学・法律・建設・地学・工学・医学などの学部、大学院からなる総合大学です。

また、シェフィールド大学のあるシェフィールド市はロンドンから約200キロ北西に位置し、人口は約70万人(全英で5番目)の都市です。かつての産業革命の発祥地で、鉄鋼・金属工業等の産業都市として発展してきました。市内は公園や森林に富み、郊外の美しい田園地帯の先には、18世紀初頭以来山岳風景で名高い、ピークディストリクト国立公園があり、環境の良いことでも有名です。

### ③ 特色

シェフィールド大学英語教育センター(ELTC)で午前中に行われる英語科目の授業は受講生の実力に合わせてクラス編成で、各国からの留学生と一緒に学びます。時事的な教材等も使用し、Integrated Language Skills(読解、作文、スピーキング、リスニング)全般の訓練を受けます。

午後は幅広い選択肢の中から選べる講義やビジネス英語を学びます。各科目を専門とする先生とコミュニケーションをとりながら進める授業になる予定ですので積極的に参加してください。

### ④ 留学期間

4月中旬～8月上旬(予定)

### ⑤ 宿泊施設

ホームステイ

### ⑥ 参加費用

P.6 参照



### 【講義の例】

Time	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
09:30 ~ 11:00	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
11:30 ~ 13:00	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
14:00 ~ 15:30	VSP Lecture Media	VSP Lecture Culture	UE Lecture – general topics (14:00 ~ 15:00)	VSP Lecture Sociology	VSP Lecture Literature
14:00 ~ 15:30 During Term 4 (ISS)	Option class or Business English	Option class or Business English	UE Lecture – general topics (14:00 ~ 15:00)	Option class or Business English	Free

※上記はあくまで時間割の一例です。



※イギリスは新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣を見合わせていましたが今年度より再開予定です。



## 【9】ホームステイについて

### HOMESTAY

ホームステイ先はホテルではありません。ホストファミリーの義務は「住居と食事を提供すること」であり、あなたをお客様として扱うことでも、あなたの語学の勉強の手伝いをするということでもありません。また、人種も多岐にわたり、食事も日本と比べてとてもシンプルな場合が多く、過度な期待は禁物です。シャワーや洗濯の習慣も、日本と大きく違います。「お金を払っているんだから」という意識は捨て、理想と異なる部分も「異文化経験＝留学の醍醐味の一つ」と捉えましょう。

日本は、先進国の中でもトップレベルの生活インフラを備えています。清潔な水も温かいお湯も容易に手に入り、電気や Wi-Fi 通信で困ることもほとんどありません。食事の種類や味も多様な選択肢があり、安価です。治安水準も高く、同一の文化圏に属する住民が比較的多いため、文化的な摩擦も限られています。世界の国々では、先進国であっても、こういった快適な環境が整っているわけではありません。留学の目的は、ただ語学を学ぶことではありません。自分が今いる快適な生活圏を離れて、多様な生活環境の中で摩擦を経験し、その中で生き抜く力を学ぶ、という目的もあります。

事前の心構えをするうえで、ホームステイに関する情報を収集することも効果的です。

(参考例) Blossa 「ホームステイの理想と現実!? ホームステイを成功させる秘訣」

<http://blossa.org/blog/homestay-fantasy>



## 【10】サポート体制、問い合わせ先

### INSURANCE & CONTACT INFORMATION

法政大学では SA に参加する学生全員に、大学が指定した海外旅行保険への加入を義務づけています。この海外旅行保険は SA 参加学生用に特別に設計されたもので、大学が一括して加入するため保険料が割安になります。保険内容に関しては、1 年次 1 月ガイダンス及び 2 月の最終ミーティングで説明します。

### (1) 海外旅行保険

参加学生は、法政大学が指定する海外旅行保険に加入します。現地でのケガや病気のと看、あらかじめ指定された病院（キャッシュレス指定病院）で診療を受ければ、その場で自己負担することなく治療が受けられます。指定病院以外でも、領収書と診断書があれば、帰国後に一定の範囲内で保険金を受け取ることができます。ただし、保険対象の範囲は定められており、歯科治療は保険の対象外となります。詳しくは出発前の各種ガイダンスでお知らせします。

### (2) 現地でのアクシデント対応

#### ① 病気やケガの場合

現地で病気やケガをした際には、留学生サポートライン（24 時間・日本語対応のフリーダイヤル）に直接電話すると、近くの病院を探してくれたり、適切なアドバイスを受けたりすることができます。

#### ② トラブルの場合

留学中の困ったことや悩み事なども、留学生サポートライン（24 時間・日本語対応のフリーダイヤル）が相談にのります。また、経済学部事務課 SA 担当も対応しますので、その場合はメールにてご連絡ください。

### (3) 質問・相談窓口

経済学部事務課 SA 担当は、SA 応募から帰国後の諸手続きまでの各種サポート（事前指導、SA 奨学金申請、出発後の連絡内容伝達、課題連絡・提出や帰国後報告会の案内・実施、単位認定手続き等）を行います。SA に関して気になることがありましたら、経済学部窓口へお越しください。

なお、事務連絡はすべて Web 掲示板やメール、または SA ガイダンスの中で行いますのでご確認ください。



## 【11】 SA 以外の留学制度について

FOR MORE INFORMATION

経済学部ではここ数年、派遣留学や認定留学に行く学生が増えています。両制度において留学先大学での修得単位は、教授会で審議の上、経済学部の卒業所要単位として認定されます（経済学部は30単位が上限）。

また、グローバル教育センターでは、夏季休暇中と春季休暇中に、英語をはじめとした外国語の語学力の強化のため、2週間から4週間程度の短期語学研修（設置科目）を実施しています。学部の定めにより、受講者に対して単位が認定される場合がありますので、認定科目、認定単位数については経済学部の事務課窓口へご相談ください。

以下に紹介する制度の詳細については、法政大学グローバル教育センターにお問い合わせください。

### （1）派遣留学制度について

3年次または4年次に、法政大学の海外協定大学へ半期または1年間の留学ができる制度です。また帰国後、留学先の大学で修得した単位は教授会で審議の上、本学の単位として認定されます。派遣留学生には、派遣先大学により70～100万円の奨学金が支給されるほか、留学先での授業料が全額免除されます。派遣留学生となるためには、グローバル教育センターで実施される選考試験に合格する必要があります。

### （2）認定海外留学制度について

2年生以上の学生が留学先大学（学位授与権を有する正規の高等教育機関）を自分で探して、その大学から入学許可を得て本学に申請をし、学部の許可を得て留学する制度です。留学期間中の学籍は「留学」となり、留学期間（半期または1年間）は修業年限に含まれます。また帰国後、留学先の大学で修得した単位は教授会で審議の上、本学の単位として認定されます。

### （3）グローバル教育センター設置科目について

#### ① 短期語学研修

夏季休暇中と春季休暇中に、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語等の語学力の強化のため、2～4週間程度実施する短期語学研修制度です。語学レベル、GPAなどに関係なく留学が可能であり、個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初心者から上級者まで語学力の向上に活かすことができます。

#### ② 国際ボランティア

夏季休暇中と春季休暇中の3～4週間程度、国際ワークキャンプに参加し、それぞれの現場で必要としている活動支援を通じて、国際協力に対する理解を深めます。世界中のボランティアと一緒に働くことで、文化や言語の壁を越えた理解を深めながら、コミュニケーション能力を養い、海外で活躍する素地を育みます。プログラムにより、派遣地域、派遣期間が異なります。

#### ③ 国際インターンシップ

夏季休暇中と春季休暇中の1～4週間程度、海外企業やNGO団体でのインターンシップを通じて、グローバル環境での働き方や企業文化の違いを学びます。将来的には、グローバル企業への就職など学生のキャリア形成支援につなげることを目的としています。プログラムにより、派遣地域、派遣期間が異なります。

**注意：**①短期語学研修、②国際ボランティア、③国際インターンシップの単位認定は、プログラムに参加した次学期（夏季参加の場合には当該年度秋学期、春季参加の場合には次年度春学期）に行うこととなりますので、4年生の最終学期については、単位認定ができません。

発行 法政大学経済学部事務課  
編集・印刷 (株)P栄文舎

**自由を生き抜く実践知**  
**Faculty of Economics**

———— 問い合わせ先 ————

法政大学経済学部 Faculty of Economics

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 Tel.042-783-2503

窓口時間▶**月**～**金** 9:00～11:30・12:30～17:00 **土** 9:00～12:00

※SA 担当が不在の場合もあります。